

刊夕日一十月九



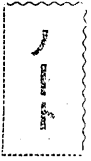
定価 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓
 廣告料 五圓以上 半日五圓 一日十圓 三日二十圓 五日三十圓 十日四十圓 十五日五十圓 一月六十圓 一月以上 另議
 印刷所 常磐毎日新聞印刷部
 電話 六二〇
 社 常磐毎日新聞社
 印刷部 常磐毎日新聞印刷部

成長役の回顧

平陽 老人

八、平の戦其の一

七月朔日味爽西軍鼓を鳴して平城に迫る、東軍仙臺兵田畔溝渠に據り兵を撒布して之に備ふ、薩州兵五小隊、大村兵五小隊一は小名濱の本道よりし、一は前方の徑路よりし大砲數門を列ね頻りに爆裂彈を連射す、砲彈水田中に爆裂し泥土飛散して東兵の面に被る、西兵追躡す、仙臺、米澤、平の兵は樹蔭より市街より一齊に起りて之を撃つ、城中よりも亦大砲を連射す、大村兵砲煙雨の間を慕進して古川の堤防に據る、薩州兵は川を隔て、戦ふ、城兵



ノート
 黒、紺、紫、赤、青、黄、白、の擦り細目
 光の紙で軽く擦るか濡手拭を當て、アイロンをかけると消える

樹間を進み西軍を横撃す、西軍直ちに兵を回して戦ふ、西軍の彈藥大雨に遭ふて濕潤し、小銃の威力減少したれば大砲を發射すること最も烈しく、城兵防戦大に努む已にして大村兵彈藥竭きて退かんとするや、城兵之



たそがれ

中西 良道

太陽の吐血した夕焼の細胞も
 紫色に凋んでしまつた
 いちまい又いちまい
 夕闇がたいせきしてゆく。

堤の草に投げ出した靴は開いた口からばくく冷たい空気を吸ふ
 雑音の吠へつく街路に疲れて来た俺の涙まで汚れて居る
 あゝ、憂愁を水平線に沈めるばかりだ。

びやうくと鳴る
 骨の瘦せた枯蘆の叫聲！
 風……
 下弦の月が鋭どく
 俺を見て居る。
 畜生！
 俺は骨の活動しない化石の
 夢を
 凝と凍らさうとして居るの
 だ。

高野 堂
 平島 前
 野澤 易
 澤 斷
 野 象

九月十二日辛巳四線大安成
 【一】營業上進んで大利を得る事あれば進んで吉丑寅未申が凶【二】望事や金談に吉利を得る事あるも猛進は凶東西が凶【三】金談取引の件より争論を起す事あれば和順が吉戌亥辰巳凶【四】不幸續きて頭痛八巻と云ふ凶より凶の來る凶日なれば萬事に注意【五】營業や縁談に奔走することあるも目的は不達の凶日なれば萬事に注意【六】金談や縁談に吉利を得る事あれば猛進せず抄々に進むに吉【七】赤病氣怪俄に注意して物事相談して抄々に進むに吉あり【八】物事延々して抄々しからざれば水火の難に注意して忍耐が吉【九】營業上大利を得る吉なれば水火の難に注意して進むは大吉なり

秋の流行は三井
 本場銘仙の各種
 斯界の新柄
 三三年型シヨール
 毛斯リン着尺の粹

三井呉服店
 平三三番八番

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
 板ガラス
 菓子壘
 菓子食器
 其他各種

松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電話五九七番)

金銀高價買入
 根本時計店
 平二(電話六〇七番)

純郷土
 文藝誌 草
 原稿募集—短篇小説、短歌詩、俳句、民謡等

發行所 草堂
 千葉縣山武郡公平村求名二四八
 福島縣平町胡麻澤一二七
 福島縣平支部 窪田志朗

内科、小兒科、花柳病科
 藤沼醫院
 入院需應
 平町紺屋町
 電話五〇七番

玉屋洋品店
 平町田町通電話五六六番

開店披露
 今般平町田町「松月堂向」へ藥種商を開業致しました。各種藥品は勿論精々良品を選び親切を旨とし凡てに於て大勉強致します。何卒多少に不拘御用命下さる様御願ひ致します。

阿部藥舖
 平町(松月堂向)

高久病院
 院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科
 平町田町 電話五一三番

月曜是非

お役所のお手際

お役所の仕事となるとうも我々下々の者には解せぬ事のみ多いのは、一體どうした事か。今度の曾我第一校長の退職にしてもさうだ、全くの寝耳に水で學校を維持經營して居る町當局にさへ何等の豫報的な通告もない、青沼町長も新聞を見て始めて知つたといふ様な次第だ。町村自治の健全な發達を誘導するには、上級官廳が切つても切れぬ脈絡を自治體との間に保つ處に妙諦があるのではないかして見れば自治體の上に大きな役割を勤める校長の異動等に就いては、主人公の町長にだけでも一應の相談位へはあつて然るべきでなからうか？

が海のものとも山のものとも定りがつかない、こんな暇取る事なら曾我校長の退職をもつと遅らして、スツカリ後釜を極めてからにすべきではなかつたか、此の邊のお役所のお手際がどうも解せない處であり、結局「お役所は何をやつて居るのか？」と大衆を怒らせる事になるのではなからうか？

三毛作研究

農村更生の一策

石城郡農會では農村更生の一策として馬齡薯、小麦、大豆の輪作による三毛作を奨励して増収を擧げんと目下肥料の吸収力の異なる三種の成育に就いて研究中であるが大体四月に馬齡薯を植え九月に收穫しその跡に小麦を蒔き翌年三月大豆の間作を行ふもので二年三毛作にする豫定である

主務省陳情

江名町から

石城郡江名町では豫てより運動中であつた同港船溜場浚渫工事の擴張及び中ノ作漁港改修工費國庫補助増額方實現の爲め去る九日河野町長外數名の町議は上京鈴木代議士の案内で内務農林兩省に陳情した

小學校長

けふ協議會

石城郡下各小學校長協議會は本日午前十時より平第一小學校會議室に開かれ左の件を協議した

- 一、東部聯合教育會代議員候補者選定に關する件
二、前會長曾我直治氏

曾我氏に

大型時計

保護者會から

平町保護者會長井上貞治郎副會長大嶺庫の兩氏は本日保護者會を代表して過般退職された曾我直治氏に對し記念として感謝状と共に大型時計一ヶを贈呈した

十二日會講演

十三日會にては来る十三日午後七時よりマルトモホールに於て例會を開き石城農事試験分場長齊藤泰治氏の遺傳に關してと題する講演がある

関伽井嶽藥師祭禮

旭大僧正が來山する

臨時列車を運轉

長の懇親會を催すと

石城郡赤井村関伽井嶽藥師の大祭は来る十九、二十の兩日執行されるが當日は宇都本山知積院管長大僧正旭純榮氏來山して大護摩修行があるので茨城、宮城、栃木方面よりも萬餘の參詣人が集り地元各町村青年の念佛踊、盆踊等の人も出で臨時列車を運轉する外平町の自動車業者は平日の一時三十分を十數臺に増加臨時運轉すると

就職依頼

矢野校長から

平商業學校矢野校長は明春三月卒業する四十名の就職に關し差し當り縣下は勿論遠く東京の大商店を始め各方面に依頼狀を近く發すると

梨果立毛品評

石城郡好間村果樹組合では本十一日梨果立毛品評會を開き齊藤神谷農事試験分場長が審査長として出張した

錦村梨果出荷

石城郡錦村果樹組合では来る十四日午後一時より同村小學

校に役員會を開き梨の共同出荷に就いて協議をする

選手對職員

来る十七日福島市に開かれる縣下一般女子庭球明治神宮豫選大に出場すべく過般來猛練習中の磐城前田戸來組及び渡邊熊組は明日同校職員と對抗練習試合を行ふが職員メンバーは左の如くである

平町人事

田中—淡路 志村—日野
酒中—永島 穴井—中川
新妻—佐藤 金澤—安延

△南町六五當時市東京蒲田區小林町二六八早田裕男氏二女すみ子
△南町六九仲井爲男氏次男政守

△神奈川縣三浦郡三崎町海南一鈴木榮藏氏(四一)
研町一九山田重(二四)

△紺屋町三太塚政市氏(二八)岩瀬郡須賀町西五丁目影山セイ(二八)

△東京市江戸川區平井三丁目八五三武尾小三郎氏(三〇)紺屋町一九林シゲ(二五)

△久保町二七當時東京市北多摩郡武藏野町吉祥寺二七八八中島金松氏(六七)

△播磨小路九小林キク(三九)

△田中一 當時東京市蒲田區志茂田町四五山雅雄

巖谷先生!

川崎小島

天下に名を走す又難い哉、命を越す十四年は決して永い人生でなく、未だ々々生きて居て戴きたかつた、而して此の永からぬ御壽命の間に、先生は普通人の三倍や五倍の仕事をして居られる茲に先生の超人的な非凡さがあると思ふ。

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由讀める川崎文庫

新聞や書籍に眼を通されて居る時間でありませう實に目まぐるしいばかりに張り詰めたお忙しさであります。

私共若い者達すら、此の先生のお忙しいお姿を拜して「天下に名を走す又難い哉」と一縮みに縮み上つて仕舞います。先生が還曆に臨んで、あの達者な輝かしいばかりの若々しさは、先生の御精勵に酬ゆる天の賜であると信じます。

榮えある優勝旗は

再び内郷青年團に

武道カッブは豊間青年團

昨日の郡競技

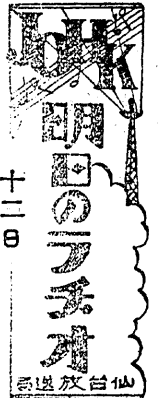
既報第十回石城郡聯合青年團體育大會は昨日午前九時半より磐中グラウンドに於て開催、選手

二百餘名が連日の猛練習振りを偲ばする赫顔を連らねて堂々と入場式を行ふ、先づ君が代の合唱に始まり會長小楢山久作氏が「今大會は勝敗に拘泥せず正々堂々と戦へ和氣霽々裡に最も愉快に最も有効に利用せよ」と激励する處あり、前回の優勝旗たる内郷青年團より優勝旗を返還し審判長下山田尚方氏の競技に對する注意あつてフ井ドは砲丸投よりトラックは百米をトップに火蓋を切り落したが高くすみ渡つた初秋の空に

涼風さへ 加はり絶好のスポーツ日和の事として思ふ存分に奮闘する選手と押掛けた應援團の聲援は四邊を壓し高月臺上時ならぬ盛況を呈した、因に戦績は左の如く榮ある競技の優勝旗は再び昨年優勝した内郷青年團に、武道の優勝カッブは豊間青年團に

夫々授與 され午後三時二十分萬歳三唱裡に幕を閉じた

<p>競技部決勝</p> <p>△百 米 草野 仁</p> <p>1 小名濱 草野 仁</p> <p>2 内郷 (記録十一秒四)</p> <p>3 平本 中井 川明</p> <p>4 湯本 柏原 武三</p> <p>5 大野 増子 道雄</p> <p>△四 百米 小川 正男</p> <p>1 内郷 寒河江武雄 (記録五十五秒九)</p> <p>2 湯本 伊川 雪夫</p> <p>3 好間 溝井 七郎</p> <p>4 倉間 佐藤 定翁</p> <p>5 平本 豊島 豊</p> <p>△千五百米 小坂橋新一 (記録四分一秒四)</p> <p>1 内郷 小坂橋新一</p> <p>2 湯本 佐藤 福藏</p> <p>3 渡邊 小野 初太郎</p> <p>4 上野 榎田 三男</p> <p>5 夏井 水竹 松美</p> <p>△走 巾 跳 溝井 三治 (記録六米四)</p> <p>1 入遠野 溝井 三治</p> <p>2 平本 佐藤 兼介</p> <p>3 湯本 佐藤 喜雄</p> <p>4 小名濱 草野 仁</p> <p>5 大浦 渡邊 義衛</p> <p>△走 高 跳 鈴木 武雄 (記録一米七五)</p> <p>1 内郷 鈴木 武雄</p> <p>2 泉本 大塚 道雄</p> <p>3 湯本 草野 鎌吉</p> <p>4 小名濱 福井 正五</p> <p>5 好間 安齊 正五</p> <p>△砲 丸 投 西牧 清富 (記録一〇米〇五)</p> <p>1 内郷 西牧 清富</p>	<p>2 渡邊 小泉 春吉</p> <p>3 平本 佐久間 芳夫</p> <p>4 好間 志賀 重助</p> <p>5 湯本 遠藤 七郎</p> <p>△俵 擔</p> <p>1 内郷 永山 源一 (記録三十三秒九)</p> <p>2 小川 柳内 五郎</p> <p>3 泉本 吉田 朝治郎</p> <p>4 平本 中條 清</p> <p>△一 萬 米 關場喜平治 (記録三十七分十秒)</p> <p>1 湯本 關場喜平治</p> <p>2 泉本 吉田 菊美</p> <p>3 小川 渡邊 一郎</p> <p>4 内郷 新妻 運吉</p> <p>5 夏井 新妻 運吉</p> <p>△千 米 瑞 典 體 走 新妻 運吉 (記録二分十三秒六)</p> <p>1 内郷 新妻 運吉</p> <p>2 湯本 新妻 運吉</p> <p>3 好間 新妻 運吉</p> <p>4 倉間 新妻 運吉</p> <p>5 平本 新妻 運吉</p> <p>△總 得 點</p> <p>(三六)内郷(二六)湯本 (一一)平本(一一)泉(九)小名濱 (四)好間(六)小川(五)大野 (四)渡邊(二)上野</p>	<p>武道部決勝</p> <p>△劍 道 高杉 清壽</p> <p>1 飯野 高杉 清壽</p> <p>2 夏井 鈴木 至郎</p> <p>3 大浦 木田 芳重</p> <p>4 草野 小林 正人</p> <p>5 渡邊 小野 清美</p> <p>△柔 道 久保田 丑三</p> <p>1 四倉 久保田 丑三</p> <p>2 小名濱 中根 武夫</p>
--	---	--



明日のラジオ 今夜も明日も北東の風晴曇半す

今晚の部

- 後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「勸兵衛さんと幸兵衛さん」日Kコードモ会紙芝居の渡船の爺さん他に村の子供達大ぜい
- 後六、二五 英語講座(一)岡田實磨
- 後七、三〇 産業ニュース
- 後八、〇〇 箏曲「笹の露」箏川地正子その他

明日の部

- 後八、二〇 浪花節「智者の一失」京山嘉一
- 後九、〇〇 常磐津「竹生島浄るり」常磐津勝榮外
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
- 前六、三〇 基礎獨語講座(一)橋本忠夫
- 前九、一〇 料理献立「蟹料理二種 小林忠雄」
- 前一〇、三〇 家庭講座「伊勢撫子の栽培 田口杏村」
- 後一〇、五〇 音曲「吹き寄せ」春風やなぎ
- 後一、一〇 野球試合實況「東京大學野球聯盟」
- 後二、〇〇 婦人講座「獨乙の婦人とその生活」日本大學教授 百々己之助
- 後五、三五 講演「社會と犯罪」宮城刑務所長 坂梨森太郎
- 後六、〇〇 (子供の時間)

平穩無事な 犯罪特別取締り

湯本と内郷に網を張る

平警察署では去る九日午後十二時より十日午前四時に亘り管内湯本町及び内郷村に於ける犯罪豫防の特別執行を行ひ新撰組其の他が大いに活躍したが最近同署の平常に於ける警戒が嚴重で

ある結果からか當日の特別執行には一名の檢舉者も見ず平穩に終り午前八時より浅野記念館に於いて警城入山兩炭礦並に兩町村當局との懇親會を催した

選挙違反に異議

小沼村議其他が正式裁判

都合に依り去る九日附退職したが齊藤氏は今後研究の傍ら一般希望者に水彩畫肖像畫等の求めに應ずると

裁判所だより

△双葉郡龍田村大字井出字小田魚行商野崎ツル(五七)は去七月廿七日同村山本龜三郎方で柴田寛藏外數名と共に花札賭博を爲罰金四十圓△平町字南町七一菓子商柴田永司(三)は去る一月二十七日自宅に於いて四軒町水野猪吉氏に對し記載高十二圓五十錢の受取書に相當の印紙を貼用せず交付して科料三圓

△同町田町二自動車運轉手岩原宇助(三)は去月十五日神谷村大字鹽地内同道に於いて芹澤タクシ運轉手を突倒し治療約一週間を要する傷害を與へ科料十圓に本日各平區裁判所に於て略式命令を以つて處分された

柔道有段 審査

武道修業者の登龍門である石城柔道有段者會の審査會は來月中旬警中に於て開かれるので警中、平商の在學生及び卒業生等は目下猛練習中である

兩訓導が退職

平第一小學校圖書手工科擔任齊藤利彦氏及び同三年二組擔任坂内キノ訓導は家事上の

求む・熟練土工

仲々ないので紹介所困る

平職業紹介所では最近求人者少なく各方面に求人開拓を行つて居た處昨日南會津郡立澤村地内縣營道路改修工事場より日給食事付九十

子供の特キスト特選童謡(齊唱)JOAK唱歌隊

ピアノ伴奏丹生健夫、指揮、吉原規

後六、二五 基礎佛語講座(一) 目黒三郎

後七、三〇 講演「安政の大獄より七十五年」東京帝大史料編纂官 井野邊茂雄

後八、〇〇 未定

後八、二〇 浪花節「相馬大作」京山嘉一

後九、〇〇 獨唱と管絃樂 田中路子 日本放送交響樂團 指揮山田耕作



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第三十七回 血に飢ゆる村正

今日は茶がいい

おみちは伴の百太郎から、お父様が何うして歿くなつたのだから聞かして呉れといはれたので、實は云々斯ういふ譯と、大手先の二の丸の堀端で井道竹之助の爲めに討たれたる物語りから、現在父が恩人たる組頭勝平太は、お前の爲めには祖父の敵、若年ながらお前は二人の仇討をしなければならん大事の身体と、委細の事を申聞かした其時に、若年なれど百太郎拳を握り、齒を喰締め

百「何故阿母様早く其事を云うて下さらん、假令年は往かずとも、お父様の敵現在御城内に居ります井道竹之助又祖父様の敵といふは組頭の勝平太と知れて居る上からは、親子心を合せて討てば、必ず討てぬ氣遣ひはございません、阿母さんどうぞ共々敵を討たして下さい」
と年こそ往かねど健氣の一言、おみちは喜び
み「お前がそういふ心なら明日にも是へ御出になつた其時に、恩義は恩義、祖父の敵の勝平太から、先に討たねばなりません」

と茲で親子が充分に約束をしました、勝平太は最初から無妻で居る位でもありおみちを初めて見ました時にも、自分が手に入れやうなどといふ考へも無く、馬淵源十郎へ世話した程であ

果ては此残りの玉を手折らうといふ心の出てました物と見ふまして、折衝參つては酒の對手などをさせる固より利發のおみちでございませうから、扱てはと心付きました然し尋常で討てる敵ではない、飽くまでも油断をさせてと思ふから、其後といふものは障らず落ちる王椿、何となく其の風情のあります所より或一日勝平太先へ使を送り、後程參るからと酒肴などを用意して是をおみちの方へ届けました、おみちは心に領きま

今日も後程来るからと、態々酒肴を送り届け此の母に酌をもさせて楽しんでいふ積りと見える、就いては豫ねての大願成就の時來つたと思ふから、後刻に勝平太殿が御出になつた時に酒に酔はして宜い鹽梅に待遇し、油断を見澄まして討ち果さうといふ覺悟、夫にはお前が傍に居ては子供とは云ひながら遠慮して充分酔ひますまいから、組頭が見えたらば用を言ひ付けるから今町の宿へ行つて暫らく時刻を過して來て呉れるやう」

百「夫は阿母さん詰らない事で、私は子供でも祖父様の敵討をしたい、阿父様の仇討をしたい、一日も忘れる暇はございません、御組頭とはいひながら現在敵と知れた勝平太、後刻に來るといふのに傍に居られないでは」
み「イヤ、お前は今云ふ通り父の敵井道竹之助を討たねばならぬ大事の身体萬一其場に居合せて返り討ちにもなつては、父の仇討ちは誰がする」
百「ハイ」
み「決して今日の事には心配なく、私がどうかして勝平太を討ち取るから、お前は後に残り井道竹之助を討つて父上の怨みを晴らして下さいさうやう」
親子の者が密々話をして居る所へ仲間の可助が可「エー只今お頭が御出になりました」
み「オヤ然うでございま



りますから性來
色氣の方には薄い性
でありまが、如何もおみちが性質が優しくまたうら若き年にて後家となりしを惜みてか、

百「百太郎」
み「此間お前に言ひ聞かせた通りお頭が此頃繁くお出になるのは心あつての事、

すか、大きに御苦勞様でございまして、お前さんも度々御出でになりました」と
と仲間世辭を云ひながらおみちは門口へ出迎へる百太郎も共に出て参りますと、何處で飲んだか勝平太大分酩酊して居ります
平「イヤ可助、大きに御苦勞であつた、其方は暫時何れへか参つて、日が暮れたら迎へに來るやうに」
可「畏まりました」
平「ア、居たかおみち」
み「是はよう入らつしやいました先刻は又種々御届け物がございまして有難ふ存じます御出を御受け致してモウ此の通り御酒の用意をいたして置ました」
平「イヤどうも飲む口は別段で、直に此方へ参らうと心得に所が、杉林權平の家へ呼込まれ、一寸立寄つた所が、種々の待遇を受け意外に酩酊して遅くなつた今日は酒を止めにして茶を一つく吞まして貰はう」

看護婦急派
の求めに應
じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

市原醫院
平町 田町
電話一四四番

吸入用酸素 純度 99%
モノサシ
度量 度
ハカリ
体温器
寒暖計
秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス
關内藥局
電話四〇番
寫真材料一式販賣致シマス

謹啓母磯子刀自葬儀に際しては御鄭重なる御玉串料を拜戴且御參列を忝ふし候段感謝の至りに不堪候實は一々拜趨御禮可申上筈の處混雜の際乍失禮以紙上厚く御禮申上候 敬具
九月十一日
男 山部 正勇
外親戚一同

謹啓亡父易與儀葬送の際には御鄭重なる御弔詞並に御香奠を賜り且遠路の處御會葬被成下御芳志の段難有奉深謝候 實は一々拜趨御禮可申述の處乍略儀以紙上御挨拶迄如此御座候
昭和八年九月十一日
福島縣平町四丁目
喪主 百澤 才八郎
外親戚一同

吉田眼科病院
平町南町 電話六八番